



宮川 典夫 さん

宮川 典夫さん(大池町)が高齢者叙勲で瑞宝小綬章(教育功労)を受章されました。

宮川さんは、昭和34年4月に高等学校の教諭となって以来、平成8年3月に高山高等学校長として退職されるまで、数々の高等学校で数学教師として勤務されました。常に子ども目線を大切に、生徒一人ひとりの進路や目標に合わせたきめ細かな指導に努められました。

また、県高等学校数学教育研究会の副会長などを務められ、中学校から大学まで一貫した数学教育の在り方について調査研究に尽力されました。

6月30日、町内各地で夏越し(なごし)のイベントが行われました



みそぎ餅が販売されました

6月30日、笠松菓子組合が毎年恒例、1日限定の「みそぎ餅」の実演販売を笠松中央交流センターで行いました。当日はあいにくの雨でしたが、販売開始の9時前からみそぎ餅を買い求める方で長蛇の列ができていました。

菓子組合の皆さんは横一列になり、慣れた手つきで手際よく焼き上げていきます。会場では甘い香りが漂っており、購入できたお客さんも満足げな表情を浮かべていました。

さらに、プロバスケットボールチーム「岐阜スーパース」の荒川 凌矢選手、高橋 快成選手も来場。みそぎ餅販売のお手伝いをしていただきました。



茅の輪(ちのわ)くぐりが行われました

6月30日夕方、八幡神社で茅の輪くぐりが行われました。茅の輪くぐりは、茅(かや)で作られた輪を8の字を書くように3度くぐると病気をせずに無事に夏を越せるといわれています。

当日昼過ぎまで続いた雨も夕方には止み、近所の方々などが続々とやってきて茅の輪くぐりを行ったあと、神社に立ち並ぶ屋台や、花手水で彩られた写真スポットなどで賑わいをみせていました。



大栄翔(だいえいしょう)関が訪問しました

7月10日、旧学校給食センター(長池)で活動する東海すもうクラブのもとに、追手風(おいてかぜ)部屋の大相撲力士・大栄翔関が訪問しました。追手風部屋は昨年、笠松中学校を卒業し「大馬翔(だいましょう)」の四股名がつけられた森島 優さんが入門した相撲部屋で、今回、大栄翔関は大馬翔が中学卒業まで共に練習に励んだクラブの子どもたちに稽古をつけてくれました。

稽古には保育園児から中学生までの子どもたちが参加し、憧れの力士を目の前にして圧倒されながらも小さな体で果敢に挑んでいきました。稽古終了後、クラブの子どもからの「どうしたら優勝できますか?」という問いに対して大栄翔関は「日頃の稽古と頑張っている自分を信じて強い心を持つことです。」とまっすぐに答えていました。



100歳おめでとうございます

6月20日に栗本 英子さんが満100歳を迎えられ、長寿者褒賞金を贈呈しました。

古田町長から「おめでとうございます。いつまでもお元気で」と祝賀状と花束を手渡されると、笑顔を見せられました。



羽島郡町村議会議員総会

6月28日、岐南町中央公民館講堂で第68回羽島郡町村議会議員総会が開催されました。

総会では、町議会議員として多年にわたり地方自治の発展に貢献された議員に、自治功労者表彰が行われました。また、「ふるさとの「今」を考えるー魅力ある岐阜県の未来に向けてー」と題した講演が行われました。

自治功労者表彰(当町関係分)

- 【議員在職24年以上】 田島 清美さん
川島 功士さん
- 【議員在職16年以上】 尾関 俊治さん



町青少年育成町民会議の活動



(左)古澤 綾子さん (右)安田 有寿さん

少年の主張大会を開催しました

6月16日、「第46回少年の主張大会」を笠松中央交流センターで開催し、町内の小中学生が心に感じたことや考えたことなどを力強く発表しました。

なお、最優秀賞に選ばれた2人は、町の代表として「少年の主張岐阜県大会岐阜圏域審査会」に推薦されました。

最優秀賞 古澤 綾子さん(笠松中3年)
安田 有寿さん(笠松中3年)

テーマ「出会いの大切さ」
テーマ「命は等しく百花繚乱」

優秀賞 村木 結さん (笠松小6年)
高田 愛莉朱さん(松枝小6年)
宮部 杏胡さん (下羽栗小6年)
森 夕月妃さん (笠松中3年)
平村 碧さん (笠松中3年)

村木 華さん (笠松小6年)
天野 治季さん(松枝小6年)
宮下 和璃さん(下羽栗小6年)
野崎 柚衣さん(笠松中3年)



犯罪や非行のない 安全・安心な暮らしを目指して

- 地域の皆さんに次世代を担う青少年の非行・被害防止と保護の徹底を図るため、横断幕や啓発旗を役場・名鉄笠松駅・笠松中央交流センターに設置しました。
- 7月8日、「社会を明るくする運動」の伝達式が役場で行われ、犯罪や非行のない社会づくりについて国民と県民に理解と協力を求める内閣総理大臣メッセージと知事メッセージが羽島保護区保護司会より町長へ伝達されました。
- 非行・被害防止の理解と認識を深めるきっかけとなるよう、これから社会との関わりがますます多くなる岐阜工業高等学校の生徒へ、生徒会とMSリーダーズのご協力で啓発グッズを配布しました。